

丘珠空港機能強化に係る中間とりまとめについて

国（北海道開発局・東京航空局）は、丘珠空港機能強化に向けた検討を進めるにあたって、広く住民参画を促すため、「丘珠空港 P I 推進協議会（北海道開発局、東京航空局、北海道、札幌市、北海道防衛局、陸上自衛隊北部方面総監部）」及び「丘珠空港 P I 評価委員会（委員長：石井吉春 北海道大学公共政策大学院 客員教授）」を設置し P I 活動を実施しています。

今般、P I 活動開始から 1 ヶ月程度の実施状況について、事業の必要性を中心とした中間とりまとめを行いましたので、以下のとおりお知らせいたします。

※ P I（パブリックインボルブメント）

空港整備主体（国）が関係地方公共団体と連携して、計画の早い段階から市民等の関係者の方々に積極的に情報を提供し、コミュニケーションを図りながら、市民等の意見を空港整備計画へ反映する取り組み。

1. 中間とりまとめの概要

- ・ 小型ジェット機の冬期運航制限の緩和等の必要性に係る 4 項目について、「必要だと思う」「やや必要だと思う」と答えられた方の合計が全体の 9 割超となっていました。
- ・ また、理解度について、「よく理解できた」「ある程度理解できた」と答えられた方の合計が 9 割超となっており、P I 推進協議会が提供した情報を多数の方が「理解している」と考えています。
- ・ 詳細は下記「丘珠空港機能強化計画に関する P I 中間とりまとめ」をご覧ください。

<https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/kk/kuukou/k5m5gg0000008f6n-att/jtfkjs00000034tr.pdf>

2. 中間とりまとめに対する丘珠空港 P I 評価委員会の評価

- ・ P I 活動は適切に実施されており、P I により提供した情報は適切に周知されていると評価する。次の段階となる施設計画案の検討についても、当初の予定どおり引き続き進めてよい。
- ・ 引き続き P I 活動を円滑に進めるため、P I 対象者に対して情報発信と丁寧な説明を行うこと。

3. 今後の P I 活動の実施方針

- ・ 丘珠空港における機能強化の必要性について、P I 対象者から一定程度の理解をいただいております。施設計画案の検討を進める。
- ・ 引き続き、情報発信と丁寧な説明を行い、P I 活動の円滑な実施に努める。

【問合せ先】 北海道開発局 港湾空港部 空港・防災課
東京航空局 空港部 空港企画調整課

松本・山岡（直通）011-700-6773
須藤・米村（直通）03-5275-9298